

## 「実施計画書」

---

### 1. 企画テーマ

エジプト・アラブ共和国（中近東、アフリカ大陸の国の中で政治・文化におけるリーダー国）をケース・スタディとした学校同士の国際交流。

### 2. 企画の概要

#### (1) 対象

対象となる学年：中学生（今回、中学3年生14～15歳中心）

教科：英語、美術教育の複合的取り組み

#### (2) 実施内容

文字表現から絵画表現への交流（両者の表現における相乗効果）

#### 1) 紹介フェーズ：「互いを知り合おう」＜文字表現交流＞

##### ・ アンケート、フェイバリット・カード作成による前提交流

いつもお母さんに言われる言葉、タイムスケジュールの把握など身近な話題から生活環境の違いや共通点などの気づきを導き出す。またフェイバリット・カード（Favorite Card）を作成。これは、ポートレートと好きな学科、食べ物、スポーツなど生徒個人を紹介するもの。紙媒体のカードで、他の海外との交流実績があるので、今回はインターネット送付が可能なhtml版制作を目指す。

##### ・ 子どもたちの紹介アルバム作成

子どもたちの一年（初詣、お雛祭りなど）や一日の生活の様子を写真とコメントにてhtml版を作成し、エジプトに送付。活動状況紹介ホームページでも使用。クラブ単位で構成できるものを想定。

##### \* 参考文献、サイト：

世界の子どもたちシリーズ

日本「博文・雅代のいそがしい一日」偕成社

-1. けんたろうくんの一日

（財）国際文化フォーラムのホームページより

<http://www.tjf.or.jp/eng/de/deindex.htm>

-2. 同上ホームページのTFJ Photo Data Bankより

[http://databank.tjf.or.jp/intro\\_e.html](http://databank.tjf.or.jp/intro_e.html)

#### 2) 交流フェーズ：「描いた絵を交換しよう」＜絵画表現交流＞

##### ・ 交流のための制作絵画テーマの選定

上記の気づきを踏まえて日本側クラスでの話し合い、エジプト側ともインターネットを介した話し合いからテーマ選定に向かう。指導者からは身近なテーマとして自画像や年中行事（日本側から初詣、雛祭り、子供の日、七夕等）や環境問題等の社会的テーマ他を提示。最終的には子どもたち同士の話し合いのなかから、各々のテーマを絞り込み決定。

##### ・ 規模：一学年（中3の約160名）

##### ・ スケジュール：実施計画スケジュール（3ページ）を参照。

#### 1) 紹介フェーズ：「互いを知り合おう」7-9月

アンケート、カードによる前提交流 / 紹介アルバム

#### 2) 交流フェーズ1：「描いた絵を交換しよう」10月-12月上旬

絵画テーマ選定、テーマ交換。

テーマに基づいた絵画作成。

#### 3) 交流フェーズ2：「エジプトに絵を持って行こう」12月下旬

美術担当教諭のエジプト派遣を予定。

・ 保谷中の絵画作品を届ける

・ エジプト側の絵画作品を持帰る

評価：以下の項目を評価ポイントとする。

- ・日本の子供たちが異文化の同世代の子供たちに対して伝えるべき内容を文字表現で的確に伝達し、交流できたか。
- ・住む土地や風土などから子供たちが暗黙のうちに学んできた伝統的な絵画表現の違いを体得できたか。また文字や絵画の表現による交流の違いを体得できたか。
- ・今回の海外交流を通して自身がどれだけ変わったか、変わらなかったか（なぜ変わらなかったかの理由も提示）。

以 上